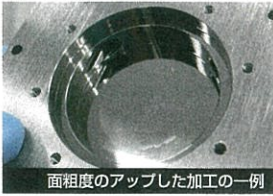


# 医療機器、測量機器ばかりか、半導体関連機器が急成長

## 「半導体産業の将来見据えて、第二工場を建設、稼働」 来年以降の需要回復に期待



面粗度のアップした加工の一例

**切削音が静かになり、面粗度がアップ**  
**30%程度の切削条件を上げることも可能に**

1965年に創業し、業8社で構成。売り上げの6割〜7割を占める屋台骨であり、眼底刃製作所は、測量機器、医療機器を手掛ける大手1社からの受注で生計を立ててきたと言

2代目となる渡辺正紀社長は「受注先の姿もあり、医療機器関連分野は現在、取引企

「ただ、半導体分野は、今年に入つて、需要に落ち着きが見られるようになった。来年以降の回復に期待している」と振り返る。

1984年に有限会社として法人化、以来、医療機器を手掛ける大手1社からの受注で生計を立ててきたと言

「ただ、半導体分野は、今年に入つて、需要に落ち着きが見られるようになった。来年以降の回復に期待している」と振り返る。

「ただ、半導体分野は、今年に入つて、需要に落ち着きが見られるようになった。来年以降の回復に期待している」と振り返る。

求められる高精度加工に、取引商社からスーパーG1チャックのテスト加工提案



新工場に導入されたスピーディーオ(W1000Xd1)の前でスーパーG1チャックを手にする渡辺社長とオペレーターの山口さん

**「寸法精度の安定に貢献。以降、5年以内の新しいブラザー工業製マシニングセンタに次々と装着、活用へ」**

「まさに安定した分野。1ロットで10個、20個、40個の受注が中心で、多い場合でも1ロット300個という世界マシニングセンタではブラザー工業のスピーディーオがメインで活躍している。新SSを掲げ、最も重視しているのが「スピード」だ。

「スピードで差別化した。医療機器部品では、平行度、真円度、平面度、と求められる精度の高さに配慮しているが、5年前くらいから導くようになった半導体関連部品はそれ以上のレベル。ニーズに合わせるべく、試行錯誤していったところ、2016年ごろだったと思うが、取引商社からブラザーの機械で、スーパーG1チャックのテスト加工依頼が提案された。ユキワ精工さんとお付き合いする、きっかけだった」と振り返る。

渡辺製作所(山形県・天童市)

訪問 5年間でスーパーG1チャックの総数は70本に

ユキワ精工ツールリングユーザー 渡辺正紀社長に聞く

高精度ツリーリングシステム  
スーパーG1チャック



精度をとことん突き詰めると、コレット式に辿り着く



ユキワだけ精度を保証！  
しています。

YUKIWA ユキワ精工株式会社  
スーパーG1チャック 検索  
http://www.yukiwa.co.jp/

本社・工場 / 〒947-0052 新潟県小千谷市千谷2600番地1 TEL.0258-81-1111(代) FAX.0258-81-1112  
営業所 / 東京、名古屋、大阪、中国(上海)、U.S.A.